

# 平成 24 年度事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

鹿児島市東千石町 2 番 2 号  
公益財団法人 示現流東郷財団  
理事長 東 郷 重 徳

公益財団法人示現流東郷財団定款第 4 条により、武道文化の振興発展、確立を目指し、示現流の継承普及(業と精神文化の正確な伝承)、青少年の健全育成、国際交流のため下記事業を行った。

## 1. 示現流兵法に関する資料の公開、展示

- 鹿児島県指定有形文化財となっている示現流兵法に関する資料を「示現流兵法所史料館」において常設展示し、体験学習等を通じて広く一般にも公開し、示現流の継承普及につとめた。
- 示現流兵法所史料館は、毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合は、火曜日)の休館日と正月(12 月 31 日～1 月 2 日)を除く、4 月 1 日より 3 月 31 日まで開館した。【別紙:資料-1 参照】
- 示現流兵法所史料館は、平成 9 年 5 月 1 日に開館し、今年で 16 年を迎えた。来館者総数も 19,000 名を超えた。

### ■参考 (単位:年度・名)

平成	9～23 の 15 年間の累計	24	合計
人数	18,501	778	19,279

- 平成 24 年度期間中の入場者は 778 名(内訳:大人 588/名、子供 149/名、団体 41/名)であった。【別紙:資料-1 参照】

### ■参考[前年度期間中の入場者:849 名(内訳:大人/711 名、子供/99 名、団体/39 名)]

- 平成 15 年 7 月より開設した公益財団法人示現流東郷財団のホームページ内容について、随時更新しながら示現流兵法並びに関連の情報の発信につとめた。結果、全国を対象とした資料館、観光をテーマにしたホームページよりリンク依頼があった。((公財)日本博物館協会、(株)南日本出版、鹿児島市プロモーション推進室、鹿児島県障害福祉課、(株)MAP&NEWS.net、(株)アバンギャルドなど)【別紙:資料-2 参照】

## 2. 東郷家古文書並びに伝承資料の保存

- 昨年度に引き続き、収蔵資料の中から伝承資料に基づき復刻した、オリジナル木刀を販売した。
- 昨年度に引き続き、示現流の稽古業を伝承するために、記録映像として公開演武のビデオ撮影など、将来を見据えた活動をした。

## 3. 示現流兵法の業の披露(演武の公開披露) 【別紙:資料-1 参照】

- 示現流の教育、普及活動のため示現流兵法演武の公開披露を県内外で行った。昨年同様県外からの演武要請にも可能な限り対応した。
  - ・ 曲水の宴(平成 24 年 4 月 8 日 仙巖園:鹿児島市)
  - ・ 薩摩義士頌徳慰霊祭(平成 24 年 5 月 25 日 平田公園:鹿児島市)
  - ・ 日本古武道交流演武大会(平成 24 年 10 月 7 日 鹿島神宮:茨城県)
  - ・ 鹿児島県古武道大会(平成 24 年 10 月 21 日 仙巖園:鹿児島市)
  - ・ 日本頭頸部外科学会総会(平成 25 年 1 月 24 日 城山観光ホテル:鹿児島市)

## 4. 示現流体験学習の開催 【別紙:資料-1 参照】

- 総合学習における教育の一環として体験学習の実施(延べ計 6 件)
- 県外・海外からの修学旅行生による体験学習の実施(延べ計 15 件)

## 5. その他 【別紙:資料-1 参照】

- 「ゆうテレ(KTS 鹿児島テレビ)」、取材協力(平成 24 年 4 月 20 日)
- 「朝日新聞(朝日新聞社刊)」、取材協力(平成 24 年 6 月 26 日)
- 「ビジュアル幕末維新((株)学研パブリッシング刊)」、取材協力(平成 24 年 8 月 1 日)
- 「決定版 日本の剣術((株)学研パブリッシング刊)」、取材協力(平成 24 年 9 月 7 日)
- 鹿屋体育大学において特別講義及び実技(平成 24 年 9 月 8~9,22~23 日)
- 「日本の 100 人 島津義弘((株)デアゴスティーニ刊)」、取材協力(平成 24 年 9 月 25 日)
- 「かごしま見・聞・録((公社)鹿児島県観光連盟刊)」、取材協力(平成 24 年 10 月 31 日)
- KICS インターナショナルカレッジにおいて特別講演(平成 24 年 11 月 11 日)
- 「歴史発見 城下町へ行こう!(BS 朝日)」、取材協力(平成 24 年 11 月 12 日)
- 「日本の 100 人 島津斉彬((株)デアゴスティーニ刊)」、取材協力(平成 25 年 2 月 14 日)
- 「薩摩動く! 全国藩校サミット 鹿児島大会(KTS 鹿児島テレビ)」、取材協力(平成 25 年 3 月 16 日)